



第 162 号

2021 年 2 月 5 日 発行

T E L 0193 - 42 - 2111

F A X 0193 - 42 - 3855

発行 大槌町議会

議会報

「おゆうぎ会楽しかったよ！」
(吉里吉里保育園)



主な内容	・ 年頭あいさつ	・ 審議した議案	・ 一般質問の項目	・ 一般質問の内容	2	2~3	4	5~9
------	----------	----------	-----------	-----------	---	-----	---	-----

年頭のあいさつ

令和3年の最初の議会報を発行するに当たり、議会を代表いたしましたして、一言御挨拶を申し上げます。

昨年の新型コロナウイルスの出現は、世界をこれまでの日常から非日常へと一変させましたが、どのような世界になろうとも住民の安全安心を守ることが使命であることに変わりはありません。

住民の安全安心を守り抜くために議会の役割を果たすべく議員一丸となり取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の収束と新たな災害のない穏やかで幸多き一年となりますようお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。



小松 則明 議長

令和2年12月定例会

一般質問に5議員が登場

令和2年12月定例会は、12月4日から10日までの7日間の会期で開催されました。今期定例会には、大槌町新型コロナウイルス感染症対策利子等補給基金条例の制定、大槌町町税条例の一部改正、大槌町町営住宅等の管理を行う指定管理者の指定、令和2年度の各会計の補正予算など、報告1件、議案18件が提案されました。また、一般質問には5議員が登場し、町当局の姿勢や施策をたどりました。

◆議案―*

- 《条例の制定・改正》
- ◎大槌町新型コロナウイルス感染症対策利子等補給基金条例の制定：新型コロナウイルス感染症対策の影響で、経営の安定に支障が生じたことにより融資を受けた町内事業者に対し、当該融資に係る利子補給及び保証料補給を行う事業の財源に充てるため、基金条例を制定するものです。(全員賛成・原案可決)

◎大槌町町税条例の一部改正：地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、国民健康保険税の軽減判定所得基準の見直しに伴う規定の整備など、所要の改正をするものです。(全員賛成・原案可決)

《指定管理者の指定》

◎大槌町小枕地区集会所の管理を行う指定管理者の指定：大槌町小枕地区集会所の指定管理者を小枕地区自治会とするも

《予算》

◎令和2年度大槌町一般会計補正予算(第4号)を定めること：大槌町東日本大震災追悼花火打上業務委託料、三陸鉄道運行支援交付

議会の動き

- 〈11月〉
- 10日・東部町村議会議長会臨時総会(岩泉町)
- 17日・議会運営委員会
- 18日・岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会(宮古市)
- 19日・大槌町自治功労者表彰式
- 20日・令和2年第7回臨時議会
- ・第10回全員協議会
- ・合同常任委員会
- 25日・岩手沿岸南部広域環境組合議会11月定例会(釜石市)
- 〈12月〉
- 1日・議会運営委員会
- 4日・令和2年12月定例会(10日)
- ・議会報編集特別委員会
- 9日・議会活性化特別委員会
- 18日・合同常任委員会
- 22日・大槌高校魅力化構想会議
- ・町村議会広報担当研修会(盛岡市)
- 〈1月〉
- 10日・大槌町消防団防火祈願
- 26日・議会運営委員会
- ・合同常任委員会
- 28日・岩手県町村議会議長会定例理事会(盛岡市)
- 29日・令和3年第1回臨時議会

金、農業畜産業緊急支援補助金、ウニ畜養実証事業補助金などにより補正し、歳入歳出予算に1億3671万8千円を追加し、予算の総額を139億880万4千円とするものです。
(全員賛成・原案可決)

◇その他の可決された
主な議案―*

◎令和2年度大槌町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
(全員賛成・原案可決)

◎令和2年度大槌町介護保険特別会計補正予算(第2号)
(全員賛成・原案可決)

◎令和2年度大槌町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
(全員賛成・原案可決)

◇報告―*

◎工事請負変更契約

締結の専決処分の報告：郷土財活用湧水エリア整備2次造成工事について、現場条件の変更等を反映した請負額に変更が生じたことから、専決処分したものです。
(全員賛成・原案可決)

第6回臨時議会

令和2年第6回臨時会は10月7日に開催され、議案5件が提案されました。

◇議案―*

《契約の締結》

◎工事請負契約の締結：大槌町保健センター建設工事において、一般競争入札により、大和リース株式会社と1億5730万円で工事請負契約を締結するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎工事請負契約の締結：元年災巖(1)

農業用施設災害復旧工事において、一般競争入札により、株式会社小田島組と1億3607万円で工事請負契約を締結するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎工事請負契約の締結：町道白澤高清水線橋梁整備工事において、一般競争入札により、松村建設株式会社と3億5750万円で工事請負契約を締結するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎財産の取得：教育用タブレット端末等730台を、一般競争入札により3108万5450円で取得するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎令和2年度大槌町一般会計補正予算(第1)

5号)を定めること：緊急自然災害防止対策事業債などにより補正し、歳入歳出予算に2450万円を追加し、予算の総額を137億7208万6千円とするものです。
(全員賛成・原案可決)

第7回臨時議会

令和2年第7回臨時会は11月20日に開催され、議案1件が提案されました。

◇議案―*

《条例の改正》

◎災害の記憶を風化させない事業基金条例の一部改正：観光船「はまゆり」復元の事業を見直し、復元に代わる津波伝承事業に改めるものです。
(賛成多数・原案可決)

◎令和2年度大槌町一般会計補正予算(第1)



定例会・臨時会議員出欠表

議席番号	議員氏名	12月定例会		第6回臨時議会		第7回臨時議会	
		12/4～12/10		10/7		11/20	
		出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
1	菊池 忠彦	4	0	1	0	1	0
2	白澤 良一	4	0	1	0	1	0
3	佐々木慶一	4	0	1	0	1	0
5	澤山美恵子	4	0	1	0	1	0
6	阿部 三平	4	0	1	0	1	0
7	東梅 守	4	0	1	0	1	0
8	阿部 俊作	4	0	1	0	1	0
9	東梅 康悦	4	0	1	0	1	0
10	及川 伸	0	4	0	1	0	1
11	金崎 悟朗	1	3	1	0	1	0
12	阿部 義正	4	0	1	0	1	0
13	芳賀 潤	4	0	1	0	1	0
14	小松 則明	4	0	1	0	1	0

町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。
町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていただく機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。
また、定例会の様子は「おおチャンネル」でも視聴いただけます。

● 3月定例会は3月4日(木)開会予定です
(予定は変更される場合があります)

12月定例会一般質問の項目

1 澤山美恵子議員
P5

- ①コミュニティについて
- ②福幸きらり商店街の跡地利活用について
- ③土地区画整理区域の空き区画について

2 臼澤良一議員
P6

- ①新型コロナウイルス感染症に係る今後の対応について
- ②新型コロナウイルスによる感染症に係る生活支援の拡充について
- ③環境行政について
- ④海洋プラスチックごみ対策について

3 菊池忠彦議員
P7

- ①介護人材の確保対策について
- ②少子化対策について
- ③一般質問、その後について

4 阿部俊作議員
P8

- ①新型コロナウイルス感染の対応について
- ②産業振興について
- ③歴史・文化・遺産について

5 佐々木慶一議員
P9

- ①現時点での復興状況と今後の取組について
- ②住民と行政の協働の進め方について

※ 12月定例会の会議録は、2月下旬（予定）に町のホームページに掲載されます。
<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/433970.html>

高台で暮らす住民の足の確保は

制度の創設に向けて取り組む



澤山美恵子議員

コミュニティについて

【問】高台で暮らす住民の足の確保が必要不可欠と思われるが、町民バスについての考えを伺う。

【答】（平野町長）

身体機能や認知機能の低下が懸念される75歳以上を「移動制約者」、バス停や駅から徒歩10分圏内となる500メートルを超える範囲を「交通不便地域」と定義し、制度の創設に向けて取り組む。

【問】定義が厳しいと思うが、対象人数は。

【答】（藤原企画財政課長）

基準は町独自に設定し、

対象者は200人弱を想定している。

【問】具体的な制度内容について伺う。

【答】（藤原企画財政課長）

予約型のデマンド交通を1年ないし2年以内に実現したい。

【問】県立釜石病院の循環器医師が3名から2名減の1名になったが、今後、補充はあるのか。また、それはいつになるのか。

【答】（平野町長）

県からは、来年度の医師の拡充は未定との回答である。釜石市とともに要望活動している。



岩手県立釜石病院

福幸きらり商店街の跡地活用について

【問】当局は跡地地活用で何を重視するのか伺う。

【答】（平野町長）

「将来を見据えた持続可能なまちづくり」の実現に向けた施設・場所であることが重要だと考えている。

【問】今後、町内から利活用案を募集するというが町外や事業者などからも募ってはいかがか。

【答】（岡本産業振興課長）

町民がいかに責任をもって経営していくかを提案いただきたい。

町の案は今後いくつが提示したい。

来年の2月の検討委員会では応募案を5〜10個に厳選し、検討したいと考えている。

土地区画整理区域の空き区画について

【問】見える化図面の公表から1年以上たつ。住宅や店舗はどれくらい増えたか。

【答】（藤原企画財政課長）

町方13戸、安渡3戸、赤浜2戸、吉里吉里2戸で現在精査しているところである。

【問】ほとんど増えていない。次々と対策を打ち出すべきと考えるが。

【答】（藤原企画財政課長）
複数の方からアイデアをいただきたい。

【問】空き地バンク制度の契約成立は35件と少なく、昨年7月からは4件しか増えていない。積極的な周知や移住定住希望者に「御用聞き」のような対応をするよう当局に提案したが叶わなかった。任期付き職員や地域おこし隊を採用してはどうか。

【答】（平野町長）

新たな人を入れることも必要と考えている。

【問】住宅建設補助制度の交付実績は335件。当初の目標の7割弱であるが、これまでの対応策は。

【答】（高橋コミュニティ総合支援室長）

新たな土地の振興策を検討していくことになる。



白澤良一 議員

新型コロナウイルス感染症の今後の対応は

全庁を挙げてこの危機を克服する

新型コロナウイルス感染症に係る今後の対応策について

【問】対応や取組について伺う。

【答】（平野町長）

全庁を挙げて取り組むため「大槌町新型コロナウイルス感染症対策本部」で10回にわたり対応協議してきた。さらに、町独自の取組や体制の在り方をホームページで周知している。

【問】対応や取組についての評価・検証について伺う。

【答】（平野町長）

対策本部で柔軟な対応

を継続していることは、最大の効果をもたらすことと評価している。

【問】情報発信の在り方と計画の見直しについて伺う。

【答】（平野町長）

「大槌町新型コロナウイルス感染症基本対策の基本的処理方針」を策定し、日々改訂を行い、町

民の規範となるよう努めている。

【問】総合計画推進における影響について伺う。

【答】（平野町長）

持続可能な行政運営を図り、限られた財源を活用し、取捨選択や優先順位と実施時期を見極めながら計画実現に向けた取組を推進する。

新型コロナウイルス感染症に係る生活支援の拡充について

【問】生活困窮状況について把握しているか伺う。

【答】（平野町長）

実態調査は実施していない。支援について関係機関と連携し情報収集と支援周知を図っていく。

【問】どのような支援制度があるのか伺う。

【答】（平野町長）

社会福祉協議会では、生活福祉資金として「緊急小口資金」と「総合支援資金」の特例貸付を行っている。

環境行政について

【問】地球温暖化月間の取組について伺う。

【答】（平野町長）

実施していない。

【問】環境学習の推進と環境保全活動の実践について伺う。

【答】（沼田教町長）

当町独自の教育課程である「ふるさと科」を中心に実施している。

【問】学年ごとの指導方法について伺う。

【答】（沼田教町長）

年間指導計画に沿って

学年ごとに、環境や資源の活用など持続可能な社会の在り方を学習している。

海洋プラスチックごみ対策について

【問】今後の取組を伺う。

【答】（平野町長）

関係機関と連携し取り組んでいく。



大槌町文化交流センター「おしやっち」来場者の新型コロナウイルス感染防止策



砂浜に打ち上げられたプラスチックごみ

介護人材の確保対策について

関係機関への働きを行っていく



菊池 忠彦 議員

介護人材の確保対策について

【問】当町で将来的に必要な介護人材数を数値として把握しているのか伺う。また、町としてこれまで行った取組とその成果を伺う。

【答】（平野町長）

現状において介護職員の不足が顕著化していると感じており、町としては町村会や岩手県を通じて支援の要望を行っているとある。

しかしながら、具体的な成果を上げるには至っていない状況にあることから、引き続き医療機関への働きかけを行っていく。

【問】介護事業所に対し、介護報酬では賄いきれない人件費や施設維持に係る経費への行政支援は、介護人材対策として最も有効な施策と考えるが、見解を伺う。

【答】（平野町長）

介護職員の安定的な処遇改善を図るための環境整備とともに、賃金改善に充てることを目的に創設された「処遇改善加算」の取得を町内

全ての介護事業所で行っている。引き続き、より高い賃金体系となる加算の取得を推進し、人材の確保対策に努めていく。



町内の介護事業所

【問】県内でもコロナ禍において高齢者施設でクラスターが発生する中、当町の介護事業所、職員の方々の心労は想像し難いものがある。医療従事者も町独自の支援金の給付を行うべきと考えるが、

見解を伺う。

【答】（阿部長寿課長）
支援金が必要であることは認識している。事業所で活用している補助金などを調査したい。

少子化対策について

【問】少子化対策として、結婚・出産・子育ての切れ目のない支援を通して出生率を高めていくことが最も重要であると考えますが、町としてのこれまでの取組と成果を伺う。

【答】（平野町長）

結婚支援としては「結婚生活支援事業」や「いきいき岩手結婚サポートセンター」登録料負担金の補助」を、出産支援としては「不妊治療助成事業」等を、子育て支援としては「幼児教育保育の無償化」等を実施してきた。

本年10月から「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠・出産・子育て相談のほか利用で

きるサービスの情報提供を行っている。

また、妊産婦一般健康診査や里帰り出産の妊産婦にも助成を行うとともに出産後の乳幼児一般健康診査と併せて子供の健康維持に努めるための乳幼児健診や相談も行っており、これらの受診率も高い状況にあることから、成果を上げているものと認識している。

【問】平成28年に策定された、「大槌町地方創生総合戦略」で掲げている少子化対策についてのこれまでの検証と効果を伺う。

【答】（平野町長）

15歳から49歳までの女性の合計特殊出生率は、全国並びに岩手県と比較して若干高い数値を示しているが、年間出生数は平成29年以降は減少傾向にある。

今後、幅広い視点から検討を重ね少子化対策に取り組んでいく。



阿部 俊作 議員

震災遺構の捉え方は

伝承事業で活用する

新型コロナウイルス感染症の対応について

【問】新型コロナウイルス感染症は第3波の広がりで、医療従事者に過重な負担を強いる状況である。病院の拠点化や医師の集約は医療従事者にさらに負担をかけ、市民の命を軽視するものと感じるが当局の考えを尋ねる。

【答】（平野町長）

岩手県は、「新型コロナウイルス感染症医療体制検討委員会」の専門的意見を聞き対応していて、医療機関の分散化は院内感染クラスターの危険性があることから、感染者収容病院を限定していること。

【問】外国船の入港もあることから、釜石の病院にも適切に治療できる環境が必要と思うがいかがか。

【答】（田中危機管理室長）

釜石市内の病院は感染症指定医療機関ではなく、岩手県では各拠点に陰圧キット導入を図り、収容枠拡大に取り組んでいる。外国船籍は第2管区海上保安部にて船員の体調を把握し、釜石保健所と連携対応している状況。

【問】災害発生時の避難行動に、自家用車の使用や避難所の在り方の検討が必要ではないか。

【答】（田中危機管理室長）

自家用車使用は移動手段の一つ。令和2年9月に全戸配布した「避難者ガイド」に記載。また、避難所運営マニュアルを作成して体制を整備した。

産業振興について

【問】漁獲不漁による、漁業・加工業の状況と、資源管理目的の新漁業法の当町の漁業への影響は。

【答】（岡本産業振興課長）

サケの大槌魚市場の水揚げは、前年の35%と見込まれ、サンマの水揚げはない。水産加工業は原材料不足に苦慮している。漁協へは定置漁網更新を支援し、サケマス類の

海面養殖事業の展開やサケの採卵・ふ化・放流の継続、廻来船誘致協議会を中心に大槌魚市場への水揚げ奨励に取り組む。漁獲可能量（TAC）の対象魚種の拡大、船舶等に漁獲割当て（IQ）が設定されるなど注視が必要と考える。

歴史・文化・遺産について

【問】各地で歴史文化を町おこしに活用している。11月に大槌の歴史講座が開催されたが、町長の感想を伺う。

【答】（平野町長）

改めて私自身、郷土の歴史を誇りに感じた。

【問】資料館建設の考えは。

【答】（平野町長）

貴重な文化財の保護を念頭に考える。

【問】御社地の歴史をどのように伝えるのか。

【答】（沼田教育長）

昭和63年の史跡指定を基本に御社地の歴史性が損なわれないように復元に努める。

【問】遺跡についての政教分離の考えを伺う。

【答】（北田副町長）

政教分離は宗教の政治利用を禁止したもので史跡保存は何ら問題ない。

【問】震災遺構の考えと捉え方について尋ねる。

【答】（藤原財政課長）

震災遺構は管理者の意向を考慮し、積極的な保存はせず、活用が可能な期間において伝承事業等で活用する。



石碑置き場

存はせず、活用が可能な期間において伝承事業等で活用する。

住民と行政との協働で重要なのは

多くの住民の参加と信頼関係



佐々木 慶一 議員

住民と行政の協働の進め方について

【問】震災後、これまでの復興過程におけるまちづくりについて、協働の在り方をどのように評価しているか。また、今後のまちづくりの在り方は。

【答】（平野町長）復興過程においては、町内10地域に地域復興協議会を設置し、多くの住民の参画を得て協議を重ね、協働による復興計画を策定した。今後のまちづくりにおいても、町民と町役場が同じ目的を持って「協働による地域・まちづくり」を一層推進していく。

【問】協働を進めていくためには多くの住民の参画を得ることが重要。一方で住民と行政の信頼関係を築くという姿勢も必要だと思いがいかか。

【答】（北田副町長）住民との合意形成の進め方については、町としても同感。十分に配慮していきたい。

現時点での復興状況と今後の取組について

【問】土地・ライフラインを含むインフラ整備の現状と今後は。

【答】（平野町長）土地区画整理事業は全

て終了し、換地処分も全地域で完了した。防災集団移転事業も全422宅地の整備が完了し、供用を開始した。

【問】住宅等の住環境整備の現状と今後は。

【答】（平野町長）災害公営住宅の整備は、昨年までに全て完成。今後、空き室の増加も予想されるが、入居条件の緩和に努め、町営住宅の有効活用を図っていく。

【問】赤浜町営住宅では、南面に杉並木があるため、昼でも薄暗い環境にある。行政の働きかけで改善できないか。

【答】（那須環境整備課長）当該地は民有地であり、杉の伐採等はできない。また、入居者には当該地の場所や、立地条件をあらかじめ示しており、手続き上は問題ない。

【問】復興協議会等で決め

たまちづくりデザインについて、ベンチを設置することとした「いさばや公園」にはベンチがないのはなぜか。行政と住民の信頼関係が崩れないよう丁寧な対応を期待する。

【答】（中野復興推進課長）実行の段階で計画変更が必要となり、復興協議会の席で図面提示をして了解していただいた。



ベンチ設置の要望が強い「いさばや公園」



利用者のほとんどいない広場のベンチ

【問】なりわいの再生の現状と今後は。

【答】（平野町長）被災した商工業・一次産業の方々は、国・県・町の補助金を活用して本設再建等に取り組み、最後の仮設店舗の福幸ざり商店街の事業者も、なりわいの再生はおおむね完了した。商工業や「岩手大槌サーモン」を含む水産業等、各産業においても、成長に向け取り組んでいく。

【問】子育ての環境、教育環境の整備も重要だが、町内で働く場所が減少していることから、町の最優先課題は、若者の流出を防ぐためのなりわいの創出と考えるがいかか。

【答】（岡本産業振興課長）今後、様々な検討部会を設けて、若い人が率先して勤めてみたいと思う産業を構築することを一番に、町内一丸となって取り組んでいく。



表紙写真とタイトル



表紙の写真は、12月11日に開催された吉里吉里保育園のお遊戯会の様子です。

今年にはコロナウイルス感染予防のため、無観客で開催となりましたが、ひまわり組さんの劇や踊りの成長を感じる感動のお遊戯だったそうです。

ポーズを決める子供たちあふれ輝いていますね。

表紙タイトル「おおつち」は、吉里吉里保育園ひまわり組（年長児）さん

（後藤紬乃さん、伊藤萌那さん、芳賀稜汰さん、中村真輔さん、倉本和さん、堀合悠月さん、川口海翔さん、佐々木華暖さん、平野詩さん、小形蒼海さん、森下耕輔さん、神田琉希斗さん）に書いていただきました。

どんなことを思いながら描いてくれたのか伺いました。

Q何をテーマに書いたものですか。

A2月といたら豆まき。鬼を書くことにしました。みんなで力を合わせて、「ひっかき絵」で字を書きました。

Q大槌町のどんなところが好きですか。

A海も山もあって、お祭りは楽しいし、花火がきれいに上がる場所。

Qこれから、大槌町がどんな町になったらいいと思いますか。

Aおいしい食べ物と遊ぶところがいっぱいほしいな町。

人間も山の動物たちも幸せに暮らせる町。皆さん本当にありがとうございます。



※「ひっかき絵」とは、画用紙をいろんな色のクレヨンで塗り、その上から黒いクレヨンで塗りつぶした後に、竹串や割り箸などでひっかいて描く絵のことです。

編集後記

▼時々、議員とは何かと考えることがあります。議会は行政のチェック機関。皆さんの声を行政に届ける。いろいろな役割があり活動があります。知らないことを知ろうとすることは苦になりませんが、学びを記憶し活用しようとするのを探るのは大変です。

「そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。」（日本国憲法抜粋）議員としてこれだけは忘れないように暗唱しています。

年4回の議会報により議会活動を広報していますが、議会では本会議の映像及び音声をインターネットでも配信することを考えています。

皆さんが主権者として行政・議会にさらに多くのご意見を寄せていただき大槌の未来が明るく楽しくなればと思います。

（阿部俊作）

- 議会報編集特別委員会
- 委員長 阿部 俊作
 - 副委員長 菊池 忠彦
 - 委員 阿部 義正
 - 委員 及川 伸
 - 委員 阿部 三平
 - 委員 佐々木慶一